デジタル・アーキビスト
Digital Archivist

MLA連携
- Museum：博物館・美術館
  - Material：資料・モノ
    - 学芸員-Curator
- Library：図書館
  - Literature：文献+AV
    - 司書-Librariann
- Archives：公文書館
  - Record：記録
    - ?-archivist

Record：「記録」と「記憶」
- 客観的・科学的
  - 主観的ではないもの
- 歴史性を持った記録
  - デジタル・アーカイブ

DA：Digital Archives
- Archive
  - 資料をひとまとめにして保存すること
    - 組織化
  - ➜ 10分でわかる「アーカイブ」の意味と使い方
- デジタル
  - 必要
  - デジタル化=Turned Digital
- アーカイブ
  - 十分
- 映像
  - 位置情報
    - 多視点(多地点)撮影
  - 再現性
  - 作成記録の必要性
    - 著作権担保のために
- 表現形式
  - デジタル３D
  - アナログロボット
- ロードマップ
  - 1.計画
    - 目的、使い方
      - 対象は？
    - ※ 権利
      - 著作権者
      - 著作権継承者
      - 原作品保有者
  - 2.記録
    - 容量、クォリティ
    - ※ 権利
      - 撮影者
  - 3.データベース
    - 管理、運営
    - ※ 権利
      - DBMS開発者
      - DB制作者
  - 4.プレゼンテーション
    - 効果的
    - ※ 権利
      - 制作者
      - 制作費出資者
      - 監督(演出家)
      - 脚本家
      - 出演者
      - 音楽制作者
      - 編集者
  - 5.利用・活用
    - マネージメント
    - ※ 権利
      - 所有権者
      - 放映権者
      - 配給権者
      - 販売権者
      - 再加工権者

人材養成
- ➜ 日本デジタル・アーキビスト資格認定機構
  - 2006年特定非営利活動法人認証
  - 講義＋実習、3年更新
  - 1.上級デジタル・アーキビスト
    - 大学院
  - 2.デジタル・アーキビスト
    - 大学
  - 3.準デジタル・アーキビスト
    - 高校
  - 4.デジタル・アーカイブ・コーディネータ
    - 中学
- 育成カリキュラム
  - 1.文化の理解
    - 「情報社会に参画する態度」
  - 2.情報活用・技術
    - 「情報の科学的な理解」
    - 「情報活用の実践力」
  - 3.法と倫理
    - 「情報社会に参画する態度」
- ILM(Information Lifecycle Management
  - 情報ライフサイクル
  - →知的創造サイクル
    - 創造
    - 活用
    - 保護
  - 教育への活用
  - 木田宏オーラルヒストリー
    ～戦後　教育改革の一端を担当して～
    Kida's Oral history
    - ➜ http://dac.gijodai.ac.jp/vm/kida/oral/3/Web/Script/index_IE.htm
    - M博物館 ＋ A文書館 ＋ L図書館